

# 時事新報

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報には専號詳細なる商況物價の報告あり

## 名家洋畫十二ヶ月

近來西洋の畫を學ぶ者多し其道に達し其技に熟し  
たるを見るべきの作ありと雖も世人皆く此美術の進歩如  
何を知らず斯道の爲め人々の遺憾とする所なり由て時  
事新報社は此美術の進歩を廣く世人に紹介し且つ其興  
隆の一端に供せんが爲め今般

## 東京府下の十二名家

を撰び之に十二箇月を割當て其長する所に從て毎月其  
月に因る洋畫の揮毫を請ひ之を美麗なる彩色石版刷  
に附し毎月初旬時事新報の附録として平生の愛讀者に  
配布する事と爲し本月を以て始め來年三月に至りて  
終る此十二箇月の洋畫、孰れも名家の手に成りたる  
ものなれば四季折々に室内の裝飾として大に讀者の心  
目を樂しめ且つ我國此美術の進歩を察するの具たる  
べし

## 來る五日第一附録

十二名家の揮毫を石版に印刷し毎月附録として時事新  
報の愛讀者に配布する其第一回は來る五日を以てすべ  
し其畫題並に畫家は

## 櫻狩 淺井忠氏

にして春風和煦の好時節、此畫に對すれば身は忽ち百  
花爛漫の中に入りて魂飛び魂離るの想ひあるべし  
當日の新報、臨時の購讀者よりは定價五錢(東京市外  
は此外に郵税壹錢)を受く可し又當日臨時に紙數を  
増刷するを以て廣告は本日迄に申込さるべし

## 時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細なる商況物  
價の報告あり其代價は左の如し  
時事新報定價(海外送達には此他後に)  
一號 貳錢五厘(一箇月) 前金五拾錢(三箇月) 前  
金壹圓四拾五錢(六箇月) 前金貳圓八拾五錢(一箇  
年) 前金五圓四拾錢(月隔日休刊)(此他大衆祝日年  
始年末一切休刊セズ)  
前金 一旦受取りたる前金は凡て通貨を以て返戻す  
る事なく新聞紙代の前金は新聞紙を以て又廣告料の  
前金は廣告を以て期定する事と御承知被下度候

## 時事新報送達料

- 一 日本國內並に朝鮮京城、仁川、釜山、元山、津浦一  
線 一箇月 金拾三錢
- 二 南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加拿大を  
經て郵送する歐洲各國 一箇月 金六拾錢
- 三 北米合衆國、英領加拿大、布哇爾 一箇月 金三拾錢
- 四 香港を経て郵送する亞細亞諸港、太平洋諸島、澳  
洲 一箇月 金六拾五錢
- 五 露領滿洲、清國諸港 一箇月 金三拾五錢

一行五號	一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十
一行	一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十

廣告料定價 時事新報の廣告料は概して定價の通り申受  
くる者なれども取次人の内には往々定價以下にて引受  
くる者ある由今後斯る事實を發見する時は直ちに其取  
次人に對し本社廣告の取次を謝絶する事もあるべき答  
に付豫め廣告依頼者諸君に公告す

## 本社(寄稿)に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より  
各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を  
撰述するより各社同一の記事を掲ぐるものと察からず獨  
り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社  
に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通  
信社に「報道せよ」と本報に「其報道は違ふ事と信  
する方多き」と爲し行進むを生じたる場合も寡か  
らざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に  
本社に向て發送あらんことを請ふ

## 時事新報

## 第六議會

は來る五月十二日を以て召集し會期は二十一日間を定  
められたり左れば各議員は其當日より議院に參集した  
る上、正副議長常任委員の選舉等を終り議會の成立を  
告げて茲に開院式を行ふの例なれば何れ開院は十五六  
日の間に在るものとならん而して會期二十一日の中、日  
曜の休暇等を除くときは正味事を議するの日は十七  
八日に過ぎざるものとならん抑も今回の議會は第五議會  
解散の後を承けたるものにして其議事の如きも自から  
前回の波瀾を傳へざるを得ず既に第二議會解散の後  
召集したる第三議會の如き其會期四十日の間に種々の  
難問題も少なからずして停會を命ぜられたるものとさへ  
ありき即ち今回の議會も前回の餘波として多少の困難  
は免れざるものとならん雖も從前の事情を察するに各  
黨派の如き一一定の成算あるものとは少なく多  
くは議會開會の上、所謂交渉なるもの行はれて各派の  
間に意見交換の約束成立して始めて議場に問題を出現  
するの例にして其交渉往來の間に意見を變むるには自  
から多少の時日を要して其時日の間に次第に切迫の勢  
を備はするとなれば今回の會期は僅に十七八日間に  
過ぎずして然かも政府より提出す可き議案の如き格別  
議論の種を爲す可きものなきが如くなり云へば議  
事切迫の勢を備はすの時未だ熱せざる其中に會期は  
早く既に過ぎ去り左程の困難も見ずして開院を告ぐる  
ものとならんか或は彼の條約履行の問題の如き解散の一  
理由を爲りたるものにして關係する所少なからず若し  
も再び新議場に現はるるに至らば其成行容易に知る  
可らずと雖も本來彼の問題は一時の狂熱より生じたる  
ものにして近來に至りては大に悟りたる様子も見ゆれ  
ば昨年のまゝに再び現はるるものと雖も東漸なかる可し  
或は中心には悟る所あるも前回の行拂りにて故なく  
思ひ止まり難き事情もあらんかされども諒もなく無  
理難題を提出して又もや自ら解散を促すの不利なる  
は議員自身に於ても承知のみとなれば此問題に就ては

## 雑報

### ○新絲前の生絲商勢

横濱の生絲は此程中より引續き相應の賣行ありし爲め  
市中在荷思ひの外減却し昨今一萬四千個計りにて品に  
依ては在荷拂底のものさへあり隨て幾分か賣人の腰を  
強め昨今は島渡賣れ行き溢りたる有様なるが地方の在  
荷は尙多く信州甲州其他の春繰絲も續々出廻らんとし  
本年の新絲も最早二箇月の後にあり此間の商勢如何  
を卜せんには先づ歐米市場の近狀と地方の在荷とを探  
らざるべからず

### ○意譯西洋行

獅子つかひ  
却て獅子つかひの少くは成るる  
濃なりけるが或る  
近き中に當物興業も  
乘りてワットばかり  
一も是より後は一任相  
たえに終には迷に行  
き切なる愛憎の舞  
つ「獅子つかひ」風情の無  
ら大それた貴郎のやうな  
たを懸念と請めて必ず  
したるは山々ながら  
り、今夜觀物の酒だ折  
す忍んで来て下さん  
と願わば男も承知して一  
安心して待て居れと約束  
けり  
正に是れ眞夜中の頃、目  
に留めず數ある燈も次第  
見分くるのみ四邊寂とし  
は民服を着け天幕の後に  
たる所へ忽然として足早  
に給ふ方なき彼の少女  
「アンソリーさん  
と男は女の手を取りて  
言に及ばず忽ち重き足音  
本老たるウキヤムなり

### ○日本商輸出貿易

ける米の輸出は日本商  
通り日本商の手に歸し  
昌洋行が本國(牛皮の  
輸出にも着手し支那商  
輸出に着手し去る十九  
たる鎮東號にて支那商  
十二三枚、總元價二萬  
朝鮮通商以來始めての  
仁川に於ける日本商輸  
と同地よりの通信に見

### ○新絲前の生絲商勢

横濱の生絲は此程中より引續き相應の賣行ありし爲め  
市中在荷思ひの外減却し昨今一萬四千個計りにて品に  
依ては在荷拂底のものさへあり隨て幾分か賣人の腰を  
強め昨今は島渡賣れ行き溢りたる有様なるが地方の在  
荷は尙多く信州甲州其他の春繰絲も續々出廻らんとし  
本年の新絲も最早二箇月の後にあり此間の商勢如何  
を卜せんには先づ歐米市場の近狀と地方の在荷とを探  
らざるべからず

### ○意譯西洋行

獅子つかひ  
却て獅子つかひの少くは成るる  
濃なりけるが或る  
近き中に當物興業も  
乘りてワットばかり